

## 新型コロナウイルスの懸念される変異株 (VOC)

	主な 変異	感染性 (従来株比)	重篤度 (従来株比)	再感染やワクチン効果 (従来株比)
B.1.1.7 英国で最初に検出された 変異株	N501Y	1.32倍と推定※ (5~7割程度 高い可能性)	1.4倍(40-64歳 1.66倍)と推定※ (入院・死亡リスクが高い 可能性)	効果に影響がある 証拠なし
B.1.351 南アフリカで最初に検出 された変異株	N501Y E484K	5割程度高い 可能性	入院時死亡リスク が高い可能性	効果を弱める 可能性
P.1 日本でブラジルからの渡 航者に最初に検出された 変異株	N501Y E484K	1.4-2.2倍高い 可能性	重篤度に影響がある証 拠なし	効果を弱める可能性 従来株感染者の再感染 事例の報告あり
P.3 フィリピンで最初に検出 された変異株	N501Y E484K	高い可能性	重篤度に影響がある証 拠なし	効果を弱める可能性
B.1.617 インドで最初に検出され た変異株	L452R (E484Q)	高い可能性	重篤度に影響 がある証拠なし	ワクチンと抗体医薬の 効果を弱める可能性

※感染性・重篤度は、国立感染症研究所等による日本国内症例の疫学的分析結果に基づくもの。ただし、重篤度について、本結果のみから変異株の重症度について結論づけることは困難。

(出典)感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の新規変異株について (第8報) 4/17 (国立感染症研究所)  
(参考)変異株の括弧内の系統名は、新型コロナウイルスに関して用いられている分類方法であるPangolinによる分子系統 IDによる分類系統名。

(厚生労働省) 第35回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料 (R3.5.19) より抜粋

# 新型コロナウイルスの注目すべき変異株（VOI）

	主な変異	概要
R.1 E484Kがある変異株	E484K	<ul style="list-style-type: none"><li>国内で海外から移入したとみられるが起源不明</li><li>感染性に影響を与える可能性がある変異は認められない</li><li>現在日本で使用されているワクチンの効果を完全に無効化するものとは考えにくい</li><li>引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握</li></ul>
B.1.427/B.1.429 米国で最初に検出された変異株	L452R	<ul style="list-style-type: none"><li>2割程度の感染性の増加と治療薬（抗体医薬）の効果への影響が示唆されている</li><li>引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握</li></ul>